

徳島県の農林水産業の概要

特徴・取組

徳島県は、四国の東南部に位置し、山地が多く県土面積のおよそ8割を占めている。四国第2の高山である剣山（1,955m）を中心とした四国山地が県を南北に分け、県の北辺には讃岐山脈が走り、香川県との境をなしている。この両山地の間を縫って流れる吉野川（四国三郎）は、水源を高知県に発し、三好市池田町から東流するにつれ、広くくさび型となって農業の中心地帯である徳島平野を形成している。

産業構造は、県内総生産（名目・令和4年度）を産業別にみると、第3次産業が62.6%と最も高く、第2次産業が34.7%、第1次産業は1.7%である。また、就業者数（令和2年）においても、第3次産業が69.0%と最も高く、第2次産業が23.3%、第1次産業は7.7%である。

農業は、春夏にんじんをはじめ吉野川流域を中心とした野菜作や那賀川等の下流域での土地利用型農業が盛んである。また、肉養鶏が主体の畜産業も盛んである。

林業は、高い人工林率（60%、全国9位、令和4年度）を背景に、徳島すざを中心に素材生産業や製材・加工業が盛んであるほか、菌床栽培を主体とした生しいたけの生産量が21年連続全国第1位（令和6年）である。

水産業は、はもや養殖わかめの生産が全国有数であるほか、多種多様な水産物が水揚げされている。

○徳島県の取組

- 各地域の実情に応じ、機械・設備の導入や人材育成、新技術の導入等により生産性の向上を図る「とくしま農業振興プロジェクト」を展開し、「食料生産・供給体制」を強化。
- 生産性の向上を図るため、農業支援サービス事業者等へスマート技術の導入を支援するとともに、新技術開発等を推進するため、高度な技術や専門知識を有する多様なメンバーで構成される「とくしま農林水産業イノベーションHUB」を令和7年3月に設立。
- サステナブル（持続可能）な農林水産業の実現に向け、地球温暖化の影響を回避・軽減する適応策として、水稻やわかめ等の高温耐性品種の普及の推進や熱帯性果樹（アボカド等）の栽培技術の開発を実施。
- 新たな海外市場開拓や輸出型園地の育成等を進め、アジア、EU等へ「なると金時」、「阿波尾鶏」、「ハラール牛肉」「とくしま三ツ星ビーフ」、「ユズ」、「スダチ」など農林水産物の輸出拡大を図る。

主な農林水産物

にんじん

トンネル栽培で、春夏にんじんとして、吉野川市、藍住町、板野町を中心に生産されている。（収穫量全国3位）



ブロッコリー

徳島市、吉野川市、阿波市を中心に生産されており、京阪神地域を中心に出荷されている。（収穫量全国6位）



かんしょ

露地栽培で徳島市、鳴門市、松茂町を中心に生産されている。地域団体商標「なると金時」としてブランド化（収穫量全国5位）



れんこん

露地、ハウス・トンネル栽培により、徳島市、鳴門市、松茂町を中心に生産されている。白い色が特徴。（収穫量全国3位）



スダチ

露地、ハウス栽培で徳島市、阿南市、勝浦町、佐那河内村、神山町を中心に生産。「徳島すだち」がGI登録。（収穫量全国1位）



洋らん（切り花）

徳島市、小松島市、阿南市、阿波市を中心に栽培されている。京阪神地域を中心に、全国へ出荷されている。（農業産出額全国1位）



ユズ（柚子）

美馬市、那賀町、つるぎ町等、中山間地域を中心に生産されている。「木頭（きとう）ゆず」がGI登録。（収穫量全国3位）



生しいたけ

菌床栽培が殆どで、徳島市、小松島市、神山町を中心に生産されている。全国生産量の約11%を占める。（生産量全国1位）



肉用鶏

美馬市、三好市、勝浦町、神山町、美波町、海陽町、つるぎ町を中心に生産されている。「阿波尾鶏（あわおどり）」がGI登録。



わかめ（養殖）

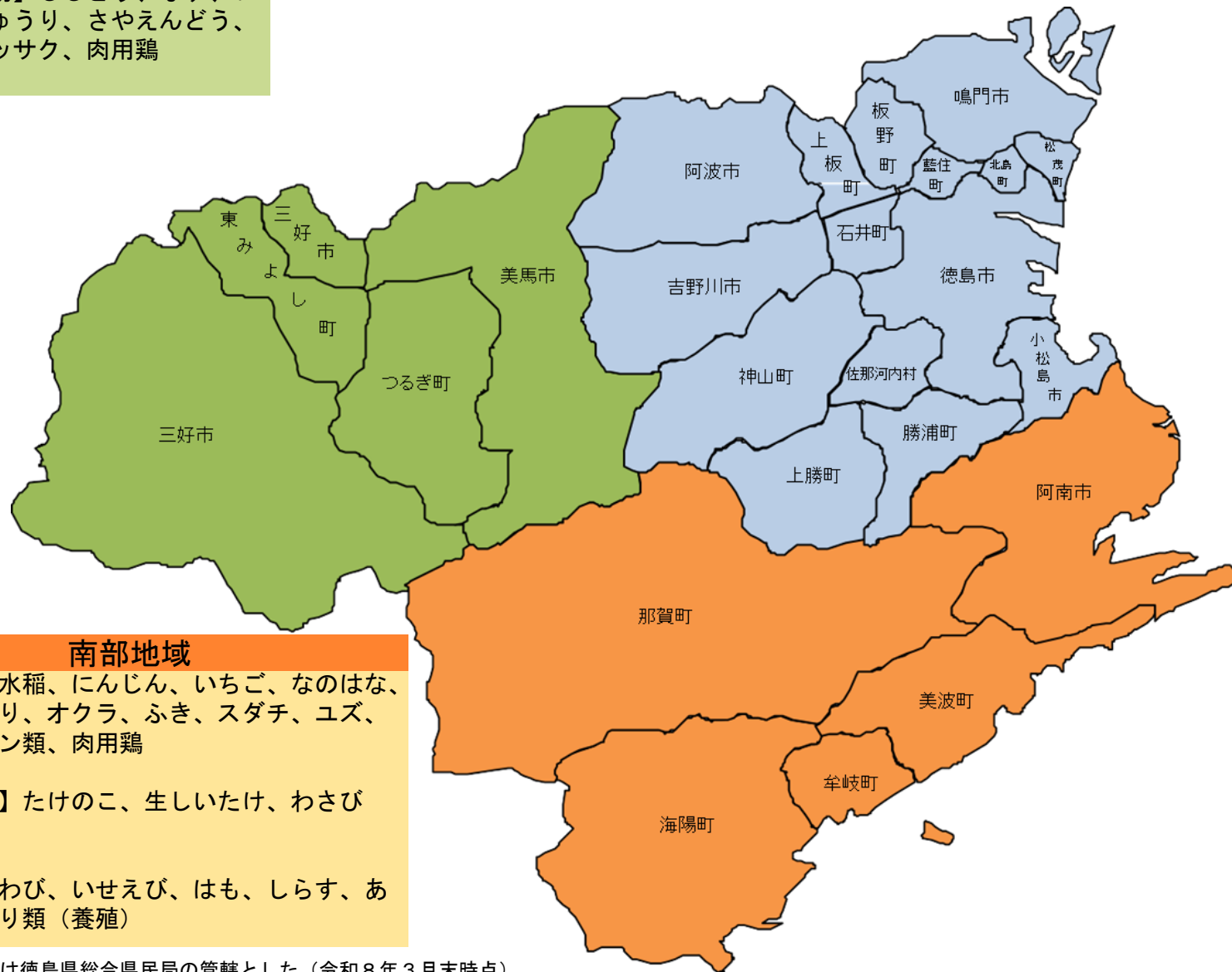
鳴門の激しい潮流で揉まれて育った「鳴門わかめ」は、しっかりとした歯ごたえと風味の良さが特徴。（収穫量全国3位）



徳島県内の各地域における農林水産物

西部地域

【農畜産物】ししとう、なす、レタス、きゅうり、さやえんどう、ゆず、ハッサク、肉用鶏



南部地域

【農畜産物】水稻、にんじん、いちご、なのはな、ねぎ、きゅうり、オクラ、ふき、スダチ、ユズ、みかん、洋ラン類、肉用鶏

【特用林産物】たけのこ、生しいたけ、わさび（葉柄）

【水産物】あわび、いせえび、はも、しらす、あおりいか、ぶり類（養殖）

東部地域

【農畜産物】かんしょ（なると金時）、にんじん、ししとう、カリフラワー、れんこん、なす、いちご、ほうれんそう、なのはな、レタス、ねぎ、ブロッコリー、らっきょう、だいこん、きゅうり、トマト、えだまめ、こまつな、オクラ、かぶ、さやえんどう、スイートコーン、しろうり、スダチ、みかん、ユコウ（注）、日本なし、洋ラン類、ゆり、肉用牛、豚

【特用林産物】生しいたけ、たけのこ、わさび（葉柄）

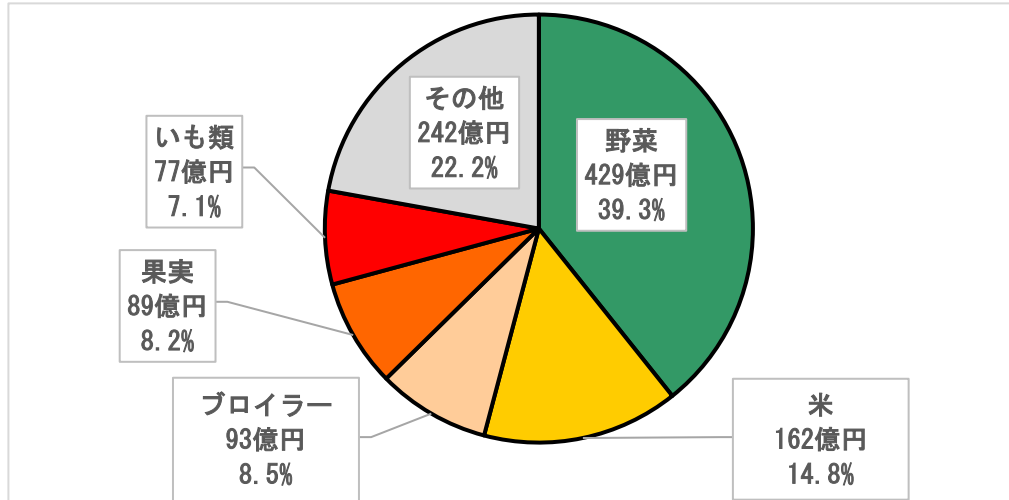
【水産物】たい、はも、しらす、あしあかえび、のり類（養殖）、わかめ（養殖）、ぶり類（養殖）、あゆ（養殖）、うなぎ（養殖）

注：地域の区分は徳島県総合県民局の管轄とした（令和8年3月末時点）。
「ユコウ」は、ミカン科ミカン属に属しユズが自然交雑して出来たと言われている。

徳島県の農業（1）

- ・農業産出額は1,092億円で全国33位。うち米が162億円（14.8%）、野菜が429億円（39.3%）、畜産が282億円（25.8%）。
- ・農畜産物の生産状況は、スタチ、ユコウ、しろうりが全国1位、にんじん、れんこん、ユズ（柚）が3位、かんしょが5位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

| 区分 | 年次 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 | |
|------------|------|-----|----------|------------|-----|
| かんしょ | 収穫量 | R7 | 25,400 t | 699,400 t | 5 |
| にんじん | 収穫量 | R6 | 43,300 t | 530,900 t | 3 |
| れんこん | 収穫量 | R6 | 4,450 t | 51,900 t | 3 |
| ブロッコリー | 収穫量 | R6 | 10,500 t | 160,500 t | 6 |
| 洋ラン類 (鉢もの) | 出荷量 | R6 | 281 千鉢 | 10,900 千鉢 | 9 |
| ブロイラー | 飼養羽数 | R6 | 3,855 千羽 | 144,859 千羽 | 7 * |
| スタチ | 収穫量 | R5 | 3,293 t | 3,356 t | 1 |
| ユコウ | 収穫量 | R5 | 171 t | 171 t | 1 |
| ユズ (柚) | 収穫量 | R5 | 2,721 t | 28,144 t | 3 |
| しろうり | 収穫量 | R4 | 3,800 t | 4,810 t | 1 |

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

| 区分 | 徳島県の農業産出額 | 全国の農業総産出額 | 全国順位 |
|--------|------------------|--------------------|------|
| 農業産出額 | 1,092 億円 (100.0) | 107,801 億円 (100.0) | 33 |
| 米 | 162 億円 (14.8) | 25,524 億円 (23.7) | 40 |
| 麦類 | x 億円 | 582 億円 | - * |
| 雑穀 | 0 億円 | 87 億円 | 38 |
| 豆類 | 0 億円 | 621 億円 | 45 |
| いも類 | 77 億円 | 2,565 億円 | 7 |
| 野菜 | 429 億円 (39.3) | 25,510 億円 (23.7) | 22 |
| 果実 | 89 億円 (8.2) | 10,112 億円 (9.4) | 27 |
| 花き | 36 億円 | 3,423 億円 | 32 |
| 工芸農作物 | 4 億円 | 1,577 億円 | 25 |
| その他作物 | x 億円 | 583 億円 | - * |
| 畜産 | 282 億円 (25.8) | 36,654 億円 (34.0) | 32 |
| 肉用牛 | 76 億円 | 7,861 億円 | 27 |
| 乳用牛 | 33 億円 | 10,035 億円 | 33 |
| 生乳 | 30 億円 | 8,937 億円 | 35 |
| 豚 | 45 億円 | 7,567 億円 | 31 |
| 鶏 | 127 億円 | 10,170 億円 | 24 |
| 鶏卵 | 27 億円 | 5,764 億円 | 34 |
| ブロイラー | 93 億円 | 4,259 億円 | 10 * |
| その他畜産物 | 2 億円 | 1,021 億円 | 25 |
| 加工農産物 | 1 億円 | 565 億円 | 29 |

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

徳島県の農業（2）

- ・耕地面積は2万7,200haで全国41位。うち田が1万8,800ha、畑が8,340ha。
- ・農業経営体数は1万1,269経営体で全国35位。うち法人経営体数が325経営体で40位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,793経営体で全国35位。うち法人数が259法人で39位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が2,100万円です。全国33位、農業経営体数は20経営体で7位。

耕地面積

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|-----------|--------------------------|----------------------------|------|
| 耕地面積 | 27,200 ha | 4,272,000 ha | 41 |
| 田 | 18,800 ha | 2,319,000 ha | 39 |
| 畑 | 8,340 ha | 1,952,000 ha | 33 |
| 普通畑 | 5,030 ha | 1,118,000 ha | 30 |
| 樹園地 | 3,210 ha | 248,600 ha | 22 |
| 牧草地 | 103 ha | 585,900 ha | 36 |
| 参考) 総土地面積 | 4,146.96 km ² | 377,979.74 km ² | 36 |

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|--------|----------|------------|------|
| 荒廃農地面積 | 3,257 ha | 256,667 ha | 29 |

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|----------|------------|---------------|------|
| 農業経営体数 | 11,269 経営体 | 836,054 経営体 | 35 |
| 法人経営体数 | 325 経営体 | 33,819 経営体 | 40 |
| 総農家数 | 19,928 戸 | 1,394,135 戸 | 35 |
| 販売農家数 | 10,770 戸 | 792,808 戸 | 34 |
| 参考) 世帯総数 | 308,210 世帯 | 55,830,154 世帯 | 44 |
| 集落営農数 | 22 集落営農 | 13,952 集落営農 | 41 |

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|-----------|----------|--------------|------|
| 担い手への集積面積 | 7,793 ha | 2,627,068 ha | 42 |
| 集積率 | 28.7 % | 61.5 % | 40 |

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|----------------------|-----------|---------------|------|
| 基幹的農業従事者数 | 14,533 人 | 1,036,228 人 | 30 |
| 男 | 8,856 人 | 659,332 人 | 32 |
| 女 | 5,677 人 | 376,896 人 | 28 |
| 65歳以上 | 10,767 人 | 721,311 人 | 30 |
| 基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合 | 74.1 % | 69.6 % | - |
| 国、市町村認定及び都道府県認定経営体数 | 1,793 経営体 | 212,136 経営体 | 35 |
| 法人数 | 259 法人 | 29,684 法人 | 39 |
| 参考) 人口総数 | 719,559 人 | 126,146,099 人 | 44 |

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 | |
|---------|--------|------------|---------------|------|
| 農産加工 | 総額 | 10,471 百万円 | 1,006,107 百万円 | 28 |
| | 事業体数 | 300 事業体 | 26,910 事業体 | 36 |
| 農産物直売所 | 総額 | 15,070 百万円 | 1,134,381 百万円 | 36 |
| | 事業体数 | 150 事業体 | 20,960 事業体 | 42 |
| 観光農園 | 総額 | 95 百万円 | 39,113 百万円 | 45 * |
| | 農業経営体数 | 20 経営体 | 4,350 経営体 | 43 |
| 農家民宿 | 総額 | 21 百万円 | 4,933 百万円 | 33 * |
| | 農業経営体数 | 20 経営体 | 770 経営体 | 7 |
| 農家レストラン | 総額 | 390 百万円 | 39,900 百万円 | 35 * |
| | 事業体数 | 20 事業体 | 1,390 事業体 | 23 |

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

徳 島 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は101.1億円で全国16位。うち木材生産が33.6億円、栽培きのご類生産が67.1億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国24位、生しいたけが全国1位、わさび葉柄、白炭が6位。

林業産出額

| 区 分 | 徳 島 県 | 全 国 | 全国順位 |
|----------|----------|------------|------|
| 林業産出額 | 101.1 億円 | 4,769.8 億円 | 16 |
| 木材生産 | 33.6 億円 | 2,369.4 億円 | 23 |
| 栽培きのご類生産 | 67.1 億円 | 2,322.7 億円 | 6 |

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

| 区 分 | 徳 島 県 | 全 国 | 全国順位 |
|-------|---------------------|------------------------|------|
| 素材生産量 | 280 千m ³ | 19,763 千m ³ | 24 |
| 針葉樹 | 269 千m ³ | 18,398 千m ³ | 23 |
| すぎ | 211 千m ³ | 11,716 千m ³ | 15 |
| ひのき | 57 千m ³ | 3,019 千m ³ | 19 |
| 広葉樹 | 11 千m ³ | 1,365 千m ³ | 22 |
| たけのこ | 生産量 140 t | 20,865 t | 15 |
| 生しいたけ | 生産量 7,025 t | 61,959 t | 1 |
| わさび葉柄 | 生産量 11 t | 966 t | 6 |
| 白炭 | 生産量 12 t | 2,637 t | 6 * |

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

| 区 分 | 徳 島 県 | 全 国 | 全国順位 |
|-------|------------|---------------|------|
| 林野面積 | 312,254 ha | 24,744,214 ha | 29 |
| 国有林 | 16,689 ha | 7,117,059 ha | 34 |
| 民有林 | 295,565 ha | 17,627,155 ha | 25 |
| 人工林面積 | 189,204 ha | 10,059,386 ha | 22 |

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

| 区 分 | 徳 島 県 | 全 国 | 全国順位 |
|-----------------|-------|----------|------|
| 製材工場数 | 70 工場 | 3,547 工場 | 26 |
| 製材用素材の入荷があった工場数 | 70 工場 | 3,492 工場 | 24 |
| 国産材のみ | 61 工場 | 3,013 工場 | 21 |
| 国産材と輸入材 | 8 工場 | 386 工場 | 21 |

出典：「令和6年木材統計」

林業経営体数

| 区 分 | 徳 島 県 | 全 国 | 全国順位 |
|--------|---------|------------|------|
| 林業経営体数 | 184 経営体 | 23,300 経営体 | 36 |
| 法人経営体数 | 41 経営体 | 3,813 経営体 | 31 |

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

徳島県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は131億円で全国29位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のいせえびが全国5位、しらすが6位、海面養殖業のわかめ類が3位、かんぱちが9位、内水面養殖業のうなぎが8位。
- ・漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が26億円で全国18位、事業体数は30事業体で9位。

漁業産出額

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|-------------|--------|-----------|------|
| 海面漁業・養殖業産出額 | 131 億円 | 14,785 億円 | 29 |
| 海面漁業 | 58 億円 | 8,894 億円 | 28 * |
| 海面養殖業 | 73 億円 | 5,891 億円 | 19 * |

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|-----------|-----------|------------|------|
| 海面漁業経営体数 | 1,105 経営体 | 65,662 経営体 | 23 |
| 内水面漁業経営体数 | 97 経営体 | 4,076 経営体 | 12 |

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|----------|---------|-----------|------|
| 海面漁業就業者数 | 1,636 人 | 121,389 人 | 25 |
| 男 | 1,513 人 | 109,757 人 | 25 |
| 女 | 123 人 | 11,632 人 | 18 |

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|------|---------|-----------|------|
| 漁船隻数 | 1,890 隻 | 109,284 隻 | 23 |
| 動力漁船 | 946 隻 | 58,907 隻 | 25 |

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|--------------|----------|-------------|------|
| 海面漁業・養殖業生産量 | 19,100 t | 3,589,121 t | 31 * |
| 海面漁業漁獲量 | 9,724 t | 2,786,195 t | 34 |
| しらす | 2,360 t | 36,391 t | 6 |
| いせえび | 70 t | 954 t | 5 |
| 海面養殖業収穫量 | 9,376 t | 802,927 t | 20 * |
| かんぱち | 251 t | 23,344 t | 9 * |
| わかめ類 | 3,626 t | 39,658 t | 3 * |
| 内水面漁業・養殖業生産量 | 302 t | 47,046 t | 21 |
| 内水面漁業漁獲量 | 21 t | 17,915 t | 26 |
| あゆ | 17 t | 1,414 t | 12 |
| 内水面養殖業収穫量 | 281 t | 29,131 t | 16 |
| うなぎ | 121 t | 16,674 t | 8 |

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

| 区分 | 徳島県 | 全国 | 全国順位 |
|---------|--------|-----------|-------------|
| 水産加工 | 総額 | 2,647 百万円 | 193,147 百万円 |
| | 事業体数 | 30 事業体 | 1,160 事業体 |
| 水産物直売所 | 総額 | 306 百万円 | 34,259 百万円 |
| | 事業体数 | 10 事業体 | 780 事業体 |
| 漁家民宿 | 総額 | x 百万円 | 5,440 百万円 |
| | 漁業経営体数 | 0 経営体 | 540 経営体 |
| 漁家レストラン | 総額 | x 百万円 | 13,511 百万円 |
| | 事業体数 | 0 事業体 | 380 事業体 |

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

徳島県の農林水産業の話題等（1）

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」の推進

「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」は、徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本条例第10条の規定に基づき、県農林水産業施策の総合的な運営指針として策定。

令和7年4月から向こう5年間を期間として、令和7年3月に第5期計画が策定された。

計画の基本理念

「未来に引き継げる農林水産業・農山漁村の実現」を目指す。

基本戦略 ～自給力の強化～

気候変動や地政学的要因による食料安全保障リスクの増加、人口減少や高齢化による労働力の不足や国内消費の縮小等、農林水産業を取り巻く状況が厳しさを増すなか、徳島県の農林水産業を、魅力あふれる持続可能な産業として次代へ継承するため、食料等の生産の「自給力強化」に向けた「4つの力」の強化に取り組む。

戦略Ⅰ 「はたらく力」の強化

農林水産業従事者の大幅な減少が見込まれる中、農林水産物の安定供給や、農山漁村における地域コミュニティの維持を図るため、新規就業者はもとより、外国人人材等の多様な働き手の育成により、農林水産業の次代を担う人材を確保する。

戦略Ⅱ 「つくる力」の強化

食料安全保障の強化に加え、持続可能な生産や海外市場をも見据えた産業へと転換していくため、経営の大規模化、生産施設等のスマート化、新技術の実装等を加速し、高い供給能力と収益性を兼ね備えた「産地づくり」を推進する。

戦略Ⅲ 「売る力」の強化

新たな「地域商社」である公益社団法人 徳島県産業国際化支援機構（IGAT）を核として、県産農林水産物等のブランド力・発信力を強化し、国内・海外への販路を拡大するとともに、食文化や観光と一体的なプロモーションの展開や、地域資源を活用した農山漁村の活性化に取り組む。

戦略Ⅳ 「農山漁村の防災力」の強化

切迫する南海トラフ巨大地震をはじめとした危機事象に備え、生産基盤の防災対策等により、安全安心と食料供給能力の確保に向けた農山漁村の強靱化を推進する。

計画期間

令和7年度を初年度とし、令和11年度までの「5年間」。
※計画期間中に必要に応じて見直す。



大阪・関西万博（KANSAI IPPIN EXPO 関西WEEK）での徳島県産品PR



海外での県産品PR（フランス）



かんきつアカデミー（栽培管理実習）

徳島県の農林水産業の話題等（2）

とくしま農業振興プロジェクト

徳島県では、「担い手の減少」、「燃料・資材価格の高騰」などの影響により、生産者の経営環境が悪化し、自給力の低下や産地維持が困難になることが危惧されている。持続可能な基幹産業へとシフトするためには、基盤となる人材確保が必要であり、市場ニーズや地域特性に応じた「もうかる仕組み」の構築とその実現に向けた支援や、一般的な雇用に加え、「多様な労働力」を誘導する仕組みが求められている。

このような状況の中、徳島県では、「市場への訴求性」、「産地への波及効果」、「収益性」等の観点から、各地域の実情に応じた20の振興プロジェクトを立ち上げ、「機械・設備の導入」や「人材育成」、「新技術の導入」などへの支援策を集中的に実施している。

とくしま農業振興プロジェクト（徳島県HP）

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/7306410/>



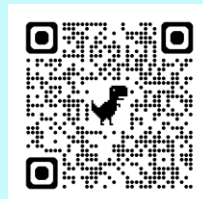
とくしま農林水産業イノベーションHUB

進展著しいAIやIoTを活用した革新的な技術開発、地域の人材や資源を活用した新たなビジネスモデル創出などを加速するため、農林水産業に従事する生産者・団体をはじめ、高等教育機関、機械やシステム等の開発に優れる民間企業など、産学官の多様なメンバーが参画するプラットフォームとして「とくしま農林水産業イノベーションHUB」を令和7年3月に設立。

スタダの貯蔵技術や援農モデルをはじめ、廃菌床を活用した菌床シイタケ栽培技術、省力的な鶏舎の遠隔監視機器、シラスやワカメの漁海況予測システムの開発など、徳島県の農林水産業・関連産業の振興と地域活性化に向けて様々なプロジェクトに取り組んでいる。

とくしま農林水産業イノベーションHUB（徳島県HP）

<https://innovation-hub.pref.tokushima.lg.jp/>



とくしま農業振興プロジェクト(抜粋)

にし阿波いちごタウン構想

露地・貯蔵すだちの次世代産地プロジェクト



イノベーションHUB設立会
(令和7年3月)

徳島県の農林水産業の話題等（3）

農林水産物の輸出拡大

徳島県産農林水産物の海外向け輸出が拡大し、令和6年度の輸出額は49.9億円に達した。「なると金時」、「阿波尾鶏」、「ハラール牛肉」、「ユズ」、「スダチ」などの主要産品が、アジアやEUを中心に販路を広げており、徳島県産品の国際的な評価が高まっている。

さらに、公益社団法人 徳島県産業国際化支援機構（IGAT）が令和6年（2024年11月）に設立され、県産品の国内外での販路開拓、物産展・商談会の開催、海外進出支援などを実施し、県と連携した輸出バリューチェーンの強化が進められている。



海外での県産品PR（ドイツANUGA2025）

徳島県内のGI登録産品

令和7年3月18日、徳島県の名産品である「御膳みそ」が、国の地理的表示（GI）保護制度（登録番号167号）に登録された。県内では「木頭ゆず」「阿波尾鶏」「徳島すだち」に続く4例目のGI登録産品であり、ブランドの保護とPR強化が進むことが期待される。

○木頭ゆず（平成29年9月15日登録）

旧木頭村では古くからゆずが植えられていたが、昭和35年に大阪中央市場に販売し高い評価を受けたことを契機に本格的な生産が始まった。果皮が厚く、果汁も多く香りが良い。

○阿波尾鶏（令和5年3月31日登録）

肉色は赤みを帯び、適度な歯ごたえがあり、低脂肪でうま味成分を豊富に含む「地鶏肉」である。徳島では、一般家庭から外食店まで広く使用され、地元の食文化に深く浸透しており、全国の実需者からも高い支持を受け、平成10年度から20年以上に渡り、地鶏肉出荷量全国1位となっている。

○徳島すだち（令和5年3月31日登録）

全国のすだち出荷量の98%を占め、徳島すだちは、果皮が濃い緑色の時期に収穫され、さわやかな香りと酸味を有するため、需要者から高く評価されている。徳島の家庭では、様々な料理の添え物として使われ、飲食店等の需要も高い。

○御膳みそ（令和7年3月18日登録）

塩分濃度も高いが米麴の比率が高いことにより甘味も強く、熟成による酸味、渋味、苦味のアクセントを含み、リンゴのような爽やかな香りも有する、深みのある豊かな味わいのみそである。



徳島県内のGI登録産品